暗号化機能搭載 USB 接続ハードディスク

SHD-PEHU3 シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C: ハードディスク
D:CD-ROM ドライブ

・文中［ ］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 使用上の注意

本製品の使用上の注意を説明します。

使用上の注意

⚠注意 **以下のことは絶対に行わないでください。行った場合、データが破損する恐れがあります。**

●仮想メモリーの保存先に本製品を設定すること

●本製品にアクセスしているときに以下のことを行うこと

- **USB ケーブルを抜くこと**
- **パソコンの電源スイッチを OFF にすること**
- **パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）に移行すること**
- **ログオフ、ログイン、ユーザー切り替えをすること**

● お使いのパソコンによっては、パソコンの省電力モードから復帰した場合に遅延書き込みエラーが表示されることがあります。その場合は、パソコンを省電力モードにする前に、本製品を取り外してください。

● パソコンの電源を OFF にしても、本製品のパワー・アクセスランプが消灯しない場合は、USB ケーブルを取り外してください。パワー・アクセスランプが消灯しないと、本製品のロックがかかりません。

● 出荷時は、暗号化機能（暗号化モード）が無効です。暗号化モードに変更した場合、パスワードを入力して認証に成功すると、本製品が利用できるようになります。

● 暗号化モードに変更した場合、パスワードを忘れてしまうと本製品に記録されたデータを取り出せなくなりますので、決して忘れないようにしてください。

● 暗号化モードに変更した状態で、Macintosh では本製品を使用できません。Macintosh でお使いになる場合は、暗号化モードを解除してください。

● パスワードは厳重に管理し、他人に知られないようにしてください。

● 本製品を初めて接続した場合、本製品のパワー・アクセスランプが点灯するまでに 20 秒程度かかることがあります。

● FAT32 形式のハードディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため､1 ファイルの最大容量が 4GB となります。NTFS 形式や Mac OS 拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● 本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前にフォーマットしてください。

次のページへ続く

- 本製品を接続した状態で Mac OS を起動すると、認識しない場合があります。その場合は、USB ケーブルを一度取り外し、数秒待ってから再接続してください。
- お使いのパソコンによっては、本製品を接続したままパソコンを起動すると、Windows が起動しないことがあります。この場合は、Windows の起動後に本製品を接続してください。また、本製品を接続したままパソコンの電源を ON/OFF する場合は、パソコンのマニュアルを参照して、BIOS のブート設定を内蔵ハードディスクから起動する順序に変更してください。
- 本製品はホットプラグに対応しています。
  本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも USB ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【マニュアル「 はじめにお読みください 」】

  ⚠注意 **本製品にアクセスしているとき（パワー・アクセスランプが緑 / 青色に点滅しているとき）は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。**
- 複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。
- パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。
- 本製品から OS を起動することはできません。
- 本製品に物を立てかけないでください。
  故障の原因となる恐れがあります。
- Windows パソコンで使用する場合、本製品を USB2.0/1.1 準拠の USB コネクターに接続すると、「高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。
- Macintosh でリカバリーするときは、本製品を取り外してください。
  取り外さないとリカバリーできないことがあります。
- 本製品の動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。
- 弊社製 IFC-EC2U3/UC を使用する場合は、別売の AC アダプター「AC-DC5」を使用してください。
  そのまま使用すると、電力不足のため本製品が正常に動作しない場合があります。

次のページへ続く

● 本製品のドライバーがインストールされると、[デバイス マネージャー(デバイス マネージャ)](※)に次のデバイスが追加されます。

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows 7	ユニバーサル シリアル バス コントローラー	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	BUFFALO SHD-PEHU3 USB Device が 2 つ (ロック時は 1 つのみ表示されます)
Windows Vista	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	BUFFALO SHD-PEHU3 USB Device が 2 つ (ロック時は 1 つのみ表示されます)
Windows XP	USB コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	BUFFALO SHD-PEHU3 USB Device が 2 つ (ロック時は 1 つのみ表示されます)

※［デバイス マネージャー（デバイス マネージャ)］は次の方法で表示できます。

Windows 7 ....［スタート］をクリック→［コンピューター］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイスマネージャー］をクリック

Windows Vista ....［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→ [管理] をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら [続行] をクリック→ [デバイスマネージャ] をクリック

Windows XP...................................［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

認証後にドライブをロックするには

暗号化モードでお使いの場合、Windows で以下のことを行うと本製品がロックされます。

● SecureLock Manager Easy
（付属ソフトウェア「SecureLock Manager Easy」を使ってロックすることができます。）

● シャットダウン

● 再起動

● 本製品の取り外し

● スタンバイ

● 休止

●ログオフやユーザー切替では、ロックされません。
一度、本製品をパソコンから取り外してください。

● Mac OS は、暗号化モードに対応していません。

2 パスワードを忘れたときは（Windows のみ）

本製品のパスワードを忘れてしまった場合に、本製品を出荷時の状態に戻して再度ご使用いただけるようにする手順を説明します。

メモ Macintosh では本製品を出荷時の状態に戻せません。

パスワードを忘れたときは（出荷時に戻す）

パスワードを忘れてしまって、どうしても思い出せない場合は、本製品を出荷時に戻してください。出荷時に戻すと、本製品に保存されているデータとパスワードをすべて削除します。

> ⚠注意 **出荷時に戻すと、本製品はFAT32形式でフォーマットされ、本製品に保存されたデータが全て削除されます。出荷時に戻すとデータを取り出せませんので、ご注意ください。また、4GB 以上のファイルを本製品に保存する場合は、出荷時に戻した後に本製品を NTFS 形式や Mac OS 拡張形式でフォーマットしてください。**

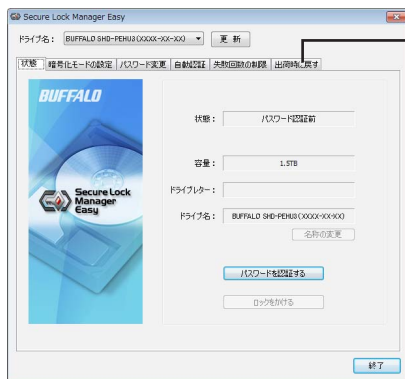
1 本製品をパソコンに接続します。

パスワード認証の画面が表示された場合は、画面を閉じてください。
Windows 7/Vista の場合、自動再生の画面が表示されることがあります。その場合も、画面を閉じてください。

2 [スタート] ─ [（すべての）プログラム] ─ [BUFFALO] ─ [SecureLock Manager Easy] ─ [SecureLock Manager Easy] をクリックします。

SecureLock Manager Easy が起動します。

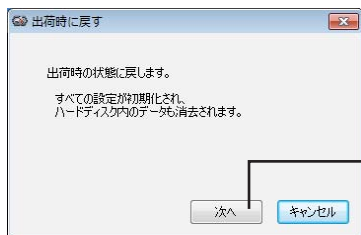
3

Secure Lock Manager Easy
ドライブ名： BUFFALO SHD-PEHU3(XXXX-XX-XX) 更新
状態 暗号化モードの設定 パスワード変更 自動認証 失敗回数の制限 出荷時に戻す
BUFFALO
Secure Lock Manager Easy
状態： パスワード認証前
容量： 1.5TB
ドライブレター：
ドライブ名： BUFFALO SHD-PEHU3(XXXX-XX-XX)
名称の変更
パスワードを認証する
ロックをかける
終了

［出荷時に戻す］をクリックします。

次のページへ続く

4

[出荷時の状態に戻す] をクリックします。

5

[次へ] をクリックします。

以降は、画面の指示に従ってください。

上記の操作を行うと、本製品に保存されていたデータは全て消去されます。保存されていたデータは取り出しできなくなりますので、ご注意ください。

6 **「ハードディスクを出荷時の状態に戻しました」と表示されたら、[OK] をクリックしてください。**

以上で完了です。しばらくすると、本製品が認識されます。認識されないときは、本製品を一旦取り外し、再度接続してください。

3 付属ソフトウェアについて（Windows のみ）

付属のソフトウェアの概要とお問合せ先をご案内します。

Windows 用のソフトウェアについての説明を記載しています（ソフトウェアによっては対応していない OS もあります）。
Macintosh ではお使いになれませんのでご注意ください。

付属ソフトウェアの概要 / お問合せ

SecureLock Manager Easy

本製品の暗号化機能を有効にし、パスワードを設定したり、自動認証を追加したりすることができます。出荷時は暗号化モードに設定されていないため、このソフトウェアを使って暗号化モードに変更することをお勧めします。

● 使いかた

SecureLock Manager Easy のマニュアルを参照してください。SecureLock Manager Easy のマニュアルは、以下の手順で表示できます。
本製品をパソコンに接続する→コンピュータ（マイコンピュータ）に表示される「UT_SHDPEHU3」内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックする→ドライブナビゲーターの「マニュアルを読む」ボタンをクリックする→マニュアル一覧より「SecureLock Manager Easy のマニュアル」を選択する

● お問合せ先

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問い合わせください。

Disk Formatter

本製品などのドライブ機器を簡単にフォーマットすることができるソフトウェアです。本製品を FAT32 形式でフォーマットすることができますが、NTFS 形式のフォーマットはできません。

● できること

・パソコンに増設したハードディスクのパーティション作成やフォーマットが簡単に行えます。MO、スマートメディア、コンパクトフラッシュなどリムーバブルメディアもフォーマットできます。
・論理フォーマットだけでなく、物理フォーマットも可能です。

● 使いかた

Disk Formatter のマニュアルを参照してください。Disk Formatter のマニュアルは、以下の手順で表示できます。
本製品をパソコンに接続する→コンピュータ（マイコンピュータ）に表示される「UT_SHDPEHU3」内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックする→ドライブナビゲーターの「マニュアルを読む」ボタンをクリックする→マニュアル一覧より「Disk Formatter のマニュアル」を選択する

● お問合せ先

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問い合わせください。

TurboPC

TurboPC は、書き込みキャッシュを使用し、転送速度を高速化します。

● できること
本製品とパソコンの転送速度を高速化できます。

● 使いかた
TurboPC のマニュアルを参照してください。TurboPC のマニュアルは、以下の手順で表示できます。
本製品をパソコンに接続する→コンピュータ（マイコンピュータ）に表示される「UT_SHDPEHU3」内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックする→ドライブナビゲーターの「マニュアルを読む」ボタンをクリックする→マニュアル一覧より「TurboPC のマニュアル」を選択する

TurboCopy

TurboCopy は、コピー / 移動するファイルをひとまとめに転送して効率化します。

● できること
パソコン内でファイルをコピー / 移動する時間を短縮（高速化）します。

● 使いかた
TurboCopy のマニュアルを参照してください。TurboCopy のマニュアルは、以下の手順で表示できます。
本製品をパソコンに接続する→コンピュータ（マイコンピュータ）に表示される「UT_SHDPEHU3」内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックする→ドライブナビゲーターの「マニュアルを読む」ボタンをクリックする→マニュアル一覧より「TurboCopy のマニュアル」を選択する

Backup Utility

Backup Utility は、バックアップソフトウェアです。バックアップするドライブを指定しておくことで、一定間隔または指定時刻に自動でバックアップを行えます。

● 使いかた
Backup Utility のマニュアルを参照してください。Backup Utility のマニュアルは、以下の手順で表示できます。
本製品をパソコンに接続する→コンピュータ（マイコンピュータ）に表示される「UT_SHDPEHU3」内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックする→ドライブナビゲーターの「マニュアルを読む」ボタンをクリックする→マニュアル一覧より「Backup Utility のマニュアル」を選択する

● お問合せ先
株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問い合わせください。

RAMDISK ユーティリティ

パソコンに搭載されているメモリーの領域を仮想ハードディスク「RAMDISK」として使用するソフトウェアです。RAMDISK は､コンピュータ（マイコンピュータ）に「BFRD-DRIVE」（ハードディスク）として認識され、データの読み書きを行えます。
ハードディスクよりも高速なメモリーの特性を活かし、データの読み込みや書き込みが快適に行えます。

● 使いかた

RAMDISK ユーティリティのマニュアルを参照してください。RAMDISK ユーティリティのマニュアルは、以下の手順で表示できます。
本製品をパソコンに接続する→コンピュータ（マイコンピュータ）に表示される「UT_SHDPEHU3」内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックする→ドライブナビゲーターの「マニュアルを読む」ボタンをクリックする→マニュアル一覧より「RAMDISK ユーティリティのマニュアル」を選択する

● お問合せ先

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問い合わせください。

Buffalo Tools ランチャー

Buffalo Tools ランチャーは、簡単にソフトウェアを起動させるためのランチャーです。Buffalo Tools ランチャーにあるアイコンをクリックするだけでソフトウェアやファイルを起動することができます。

● 使いかた

Buffalo Tools ランチャーのマニュアルを参照してください。Buffalo Tools ランチャーのマニュアルは、次の手順で表示できます。
本製品をパソコンに接続する→コンピュータ（マイコンピュータ）に表示される「UT_SHDPEHU3」内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックする→ドライブナビゲーターの「マニュアルを読む」ボタンをクリックする→マニュアル一覧より「Buffalo Tools ランチャーのマニュアル」を選択する

● お問合せ先

株式会社バッファローサポートセンター（マニュアル「はじめにお読みください」に記載）へお問い合わせください。

ウイルスバスター（体験版）

ウイルスに加えて新種のネットワークウイルスの検出や駆除、ハッカーからの攻撃を遮断する不正侵入検知機能などを備えたウイルス対策ソフトウェアです。体験版のため 90 日間のご利用となります。

● **使いかた**

ウイルスバスターのガイドブックを参照してください。ガイドブックは、ウイルスバスターのインストール時に起動するウィンドウから [ガイドブックを読む] をクリックすると表示されます。

ウイルスバスターのマニュアルを必ずお読みください

ウイルスバスターのマニュアルには、ウイルスバスターを使用するための注意事項やインストール方法が記載されています。ウイルスバスターを使用する前に必ずお読みください。

「ウイルスバスター」の操作方法や製品情報は、下記窓口までお問い合わせください。

※ **株式会社バッファローでは、「ウイルスバスター」に関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。**

お問い合わせ先：トレンドマイクロ株式会社　営業代表窓口
TEL：0570-00-8326（音声メッセージが流れますので「1 番」をご選択ください。）
営業日：平日のみ　9:00 ～ 18:00
なお、年末年始は休日となります。予めご了承ください。

付属ソフトウェアのインストール

付属ソフトウェアは、ドライブナビゲーター（本製品に収録されている「DriveNavi.exe」をダブルクリックしたときに表示されるメニュー）からインストールできます。以下の手順でインストールしてください。

1 **本製品をパソコンに接続します。**

2 **コンピュータ（マイコンピュータ）にある「UT_SHDPEHU3」（ ）をダブルクリックします。**

3 **「DriveNavi.exe」（ ）をダブルクリックします。**

ドライブナビゲーターが起動します。

- Windows 7 の場合、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックしてください。
- Windows Vista の場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

4 **[かんたんスタート] をクリックします。**

5 **[ソフトウェアの個別インストール] をクリックします。**

※ Buffalo Tools（ランチャー、TurboPC、TurboCopy、Backup Utility、RAMDISK ユーティリティ）は、[かんたんスタート] → [製品のセットアップ] → [カスタムセットアップ] → [Buffalo Tools をインストールします] からインストールできます。

6 **インストールするソフトウェアを選択し、[インストールする] をクリックします。**

以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

4 Mozilla Firefox、Mozilla Thunderbird の注意

Mozilla Firefox や Mozilla Thunderbird を使用する際は、以下のことにご注意ください。

Mozilla Firefox、Mozilla Thunderbird の注意

● **本製品のハードディスク内にある「DATA」フォルダー、「APP」フォルダー、「MobileLaunch.exe」、「MobileLaunch.ini」を削除・変更しないでください。**

このフォルダーには、Mozilla Firefox や Mozilla Thunderbird のデータやソフトウェアのインストールファイルが保存されています。削除・変更した場合、データを読み出せなくなることがありますのでご注意ください。フォーマットする場合は、あらかじめパソコンなどにバックアップしてください。削除してしまった場合は、以下の手順で復元してください。

1 **「UT_SHDPEHU3」（ ）内の「HDDBackup」フォルダーの中にある「MLbackup.exe」を「SHD-PEHU3」（ ）にコピーします。**

2 **コピーした「MLbackup.exe」をダブルクリックします。**
削除したファイルが復元します。
※ Windows 7 の場合、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか ?」と表示されたら、[はい] をクリックしてください。
※ Windows Vista の場合、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。

3 **コピーした「MLbackup.exe」を削除します。**

以上で復元作業は完了です。

● **マスターパスワードを設定することをお勧めします。**

マスターパスワードを設定すると、Mozilla Firefox で ID やパスワードなどの管理をするときや、Mozilla Thunderbired でメールの送受信するときなどにマスターパスワードが必要となり、セキュリティーを向上できます。マスターパスワードの設定は、以下の画面から行ってください。

Mozilla Firefox： メニューバーの [ツール]-[オプション] を開く→ [セキュリティ] をクリックした画面から設定できます。

Mozilla Thunderbird： メニューバーの [ツール]-[オプション] を開く→［プライバシー］をクリック→ [パスワード] タブをクリックした画面で設定できます。

● **Mozilla Firefox 終了時に履歴やキャッシュを消去することをお勧めします。**

履歴やキャッシュからホームページの閲覧履歴などを知られる恐れがあります。
Mozilla Firefox 終了時に履歴やキャッシュを消去するには、メニューバーから［ツール］－［オプション］を開く→［プライバシー］選択→プライバシー情報の「Firefox 終了時にプライバシー情報を消去する」にチェックをつけてください。Firefox 終了時に情報消去画面が表示されるようになりますので、画面にしたがって消去してください。

● **使いかたや設定方法は、以下のホームページをご覧ください。**

株式会社バッファローでは、Mozilla Firefox や Mozilla Thunderbird に関するお問合せを承っておりません。使いかたや設定方法は、以下のホームページをご覧ください。

http://mozilla.jp/support/

● **起動するときは、必ずマニュアル「はじめにお読みください」に記載の方法で行ってください。**

本製品内の実行ファイルから直接起動すると、設定やメールデータ、ブックマークなどはパソコンに保存されます。

● **他のメールソフトウェア (Outlook Express など) や Web ブラウザー (Internet Explorer など) から設定やデータをインポート（移行）することができます。**

設定やデータのインポート (移行) を行う場合、メニューバーの [ツール（ファイル）]-[設定とデータのインポート] から設定画面を起動し、画面に従ってインポートします。なお、インポートに対応していないメールソフトウェアや Web ブラウザーもありますので、あらかじめご了承ください。

● **ソフトウェアをアップデートするときは、以下の方法で行ってください。**

メニューバーの [ヘルプ]-[ソフトウェアの更新] でバージョンアップの確認を行い、アップデートがある場合、アップデートを実行します。アップデートできない場合は、弊社ホームページ（http://buffalo.jp/download/driver/hd/shd-pehu3.html）に記載の方法でインストールしてください。

※アップデート完了後、再起動を促すメッセージが表示されますが、再起動しないください。再起動すると、メールの設定が反映されない場合があります。アップデート完了後は、一旦画面閉じた後、マニュアル「はじめにお読みください」に記載の方法で起動してください（再起動した場合でも、マニュアル「はじめにお読みください」に記載の方法で起動すればメールの設定が反映されます）。

5 仕様

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

項目		仕様
インターフェース		USB
準拠規格		USB 3.0 Specification Rev. 1.0 USB Specification Rev. 2.0
コネクター		USB 3.0 Micro-B
転送速度（理論値）		＜ USB3.0 ＞最大 5Gbps（※ 1）　＜ USB2.0 ＞最大 480Mbps ＜ USB1.1 ＞最大 12Mbps
出荷時フォーマット形式		FAT32(1 パーティション) 暗号化機能（暗号化モード）は無効（※ 2）
外形寸法		98(D) × 13(H) × 57(W)mm（突起物含まず）
消費電力		4.5W
電源		5.0 ± 0.25V
動作環境	温度	0 ～ 40℃
	湿度	20 ～ 80%（結露なきこと）
対応機種		＜ USB3.0 ＞ ● USB3.0 ポートを標準搭載する次のパソコン ・DOS/V 機（OADG 仕様） ●弊社製 USB3.0 インターフェースを搭載した次のパソコン ・DOS/V 機（OADG 仕様） ＜ USB2.0 ＞ ● USB ポートを標準搭載する次のパソコン ・DOS/V 機（OADG 仕様） ・Apple 製 Mac（Intel プロセッサーを搭載した Mac のみ） ●弊社製 USB インターフェースを搭載した次のパソコン ・DOS/V 機（OADG 仕様）
対応 OS	DOS/V 機	Windows 7 (64bit , 32bit) / Vista (64bit , 32bit) / XP
	Macintosh	Mac OS X 10.4 以降（Intel 社製 CPU 搭載機のみ）（※2）

※ 1　本製品を、USB3.0 で規定されている SS モード（最大転送速度 5Gbps）で使用するには、弊社製 USB3.0 インターフェース（または USB3.0 に対応したパソコン本体）が必要です。

※ 2　暗号化機能（暗号化モード）を有効にした状態では、Macintosh で本製品は使用できません。